

いち

谷川俊太郎

いちってね
つまりぼくがね いちなのさ
ぼくは せかいで ひとりきり

いちってね
つまりママがね いちなのさ
ママは せかいで ひとりきり

いちってね
つまりきみもね いちなのさ
ぼくと きみとで 2になるよ

いちってね
だけどちきゅうは ひとつなの
ぼくと きみとで てをつなぐ

いちってね
だからはじめの かずなのさ
ちいさいようでおおきいな

自分のことば

小森香子

叫んでみよう
自分の心を 自分の思いを
自分のことばで

けんかも あそびも なかまづくりも
ちいさいのちを いつくしむことも
歌も おどりも 一つの仕事も
みんな 自分の意志と 責任

どこかで つくられた道を
知らぬ間に 歩かされるのではなく
自分の足で 大地に立ち
考えてみよう 自分のことばで

それは わたしが 生きているあかし
人間らしく 生きてゆくための
かけがいのない あかしのだから

あなたが好き

立原 えりか

あなたが好き
生きてるから好き
笑ってるから好き
くすぐったがりやだから好き
くいしんぼうだから好き
ねごと言っから好き
わがままでから好き
わたしより大きいから好き
うそがへただから好き
つめがきれいだから好き
いっしょうけんめいだから好き
愛してくれるから好き
愛してるから好き

あいたくて

工藤直子

あいたくて
だれかに あいたくて
なにかに あいたくて
生まれてきたー
そんな気がするのだけれど

それが だれなのか なになのか
あえるのは いつなのかー
おつかいの とちゅうで
迷ってしまった子どもみたい
とほうに くれている

それでも 手のなかに
みえないことづけを
にぎりしめているような気がするから
それを手わたさなくちゃ
だから

あいたくて

みちでバッタリ

岡 真史

みちでバッタリ
出会ったヨ
なにげなく
出会ったヨ
そして両方とも
知らんかおで
とおりましたヨ
でもぼくにとって
これは世の中が
ひっくりかえる
ことだヨ
あれから
なんべんも
この道を歩いたヨ
でももうーども
会わなかったよ

心に太陽を持って

ツエーザル・フライシユレン作
山本有三訳

心に太陽を持って。

あらしが ふこうと、

ふびきが こようと、

天には黒くも、

地には争いが絶えなかつと、
いつも、心に太陽を持って。

くちびるに歌を持って、

軽く、ほがらかに。

自分のつとめ、

自分のくらしに、

よしや苦勞が絶えなかつと、
いつも、くちびるに歌を持って。

苦しんでいる人、

なやんでいる人には、

こう、はげましてやろう。

「勇気を失うな。

くちびるに歌を持って。

心に太陽を持って。」